DENON

スーパーオーディオCDプレーヤー

DCD-CX3

取扱説明書

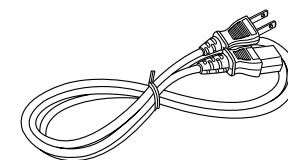
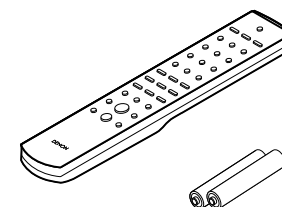
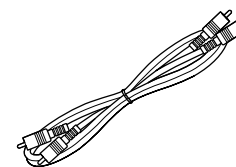
安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

総目次

ご使用になる前に

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

リモコン（RC-1059）…1個 単4形乾電池……2本 	電源コード ……1本 【本機専用】 （コードの長さ：約1.5m）
ピンプラグケーブル …1本 （ケーブルの長さ：約1.0m）	取扱説明書（本書）……1冊 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 …1枚 保証書【梱包箱に添付】

ステレオ音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

❏ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

《ご使用になる前に》

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告 つづき

❑ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

❑ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

《ご使用になる前に》

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

手を挟まれないように注意

指のケガに注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

❑ 置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

❑ 取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

《ご使用になる前に》

❑ 使わないときは

長期間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

❑ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は本機から離れたところで使用してください。

移動させるときのご注意

- まずディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

お手入れのしかた

◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ スーパーオーディオCD

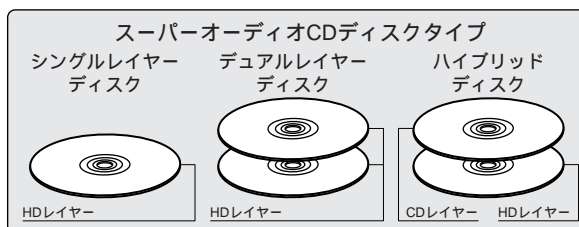
本機で使用できるスーパーオーディオCDは、以下のマークが付いているものです。

Stereo

スーパーオーディオCDには以下の3つの種類があります。

① シングルレイヤーディスク
HDレイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオCDです。

② デュアルレイヤーディスク
HDレイヤーが二層構造のスーパーオーディオCDであり、高音質で長時間の再生ができます。

③ ハイブリッドディスク
HDレイヤーとCDレイヤーの二層構造のスーパーオーディオCDです。CDレイヤーの内容は通常のCDプレーヤーで再生することができます。

※ **HDレイヤーとは？**
スーパーオーディオCD用の高密度信号層のことです。

※ **CDレイヤーとは？**
既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層のことです。

- 本機はマルチチャンネル再生には対応しておりません。

❷ 音楽用CD

本機で使用できるCDは、右のマークがついているものです。

但し、ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

❸ CD-R/CD-RW

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ **ファイナライズとは？**
録音されたCD-R/CD-RWを再生対応機で再生できるように処理すること。

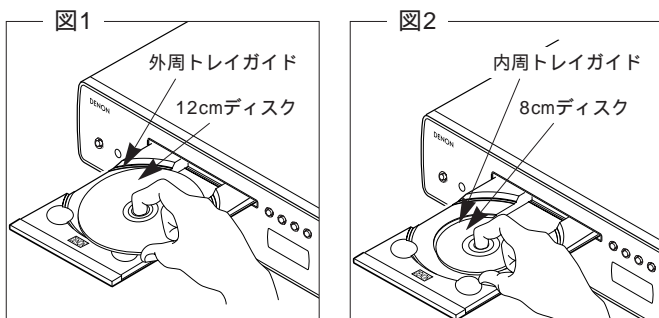
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて、水平に載せてください。

図1

図2

- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、“ 00：00 ” を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“ NO DISC ” を表示します。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

取り扱いについてのご注意

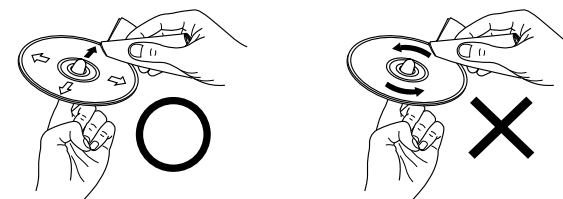
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

《ご使用になる前に》

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

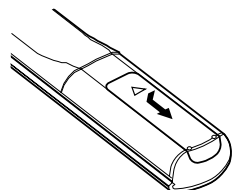
円周に沿っては拭かない。

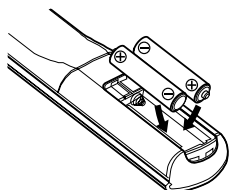
ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

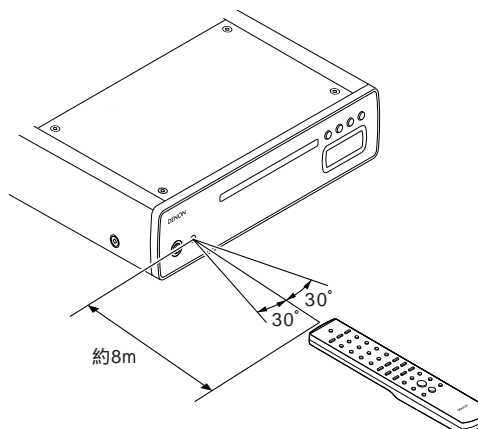
乾電池の入れかた

① 矢印方向に裏ぶたをずらして外す。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れる。

③ 裏ぶたを元通りにする。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

リモコンの使いかた

- リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。
- 左右30 °までの範囲で、約8m離れたところまで使用できます。

ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたりリモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、（　）内のページを参照してください。

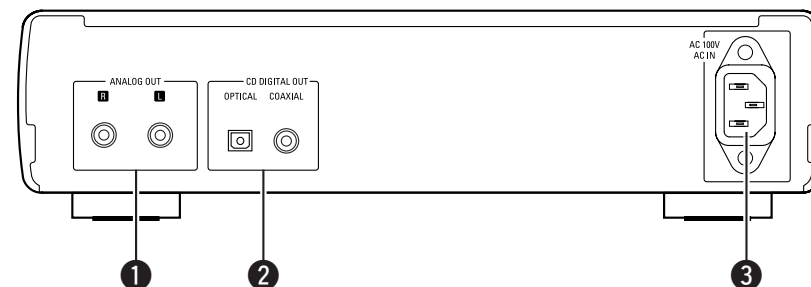
フロントパネル

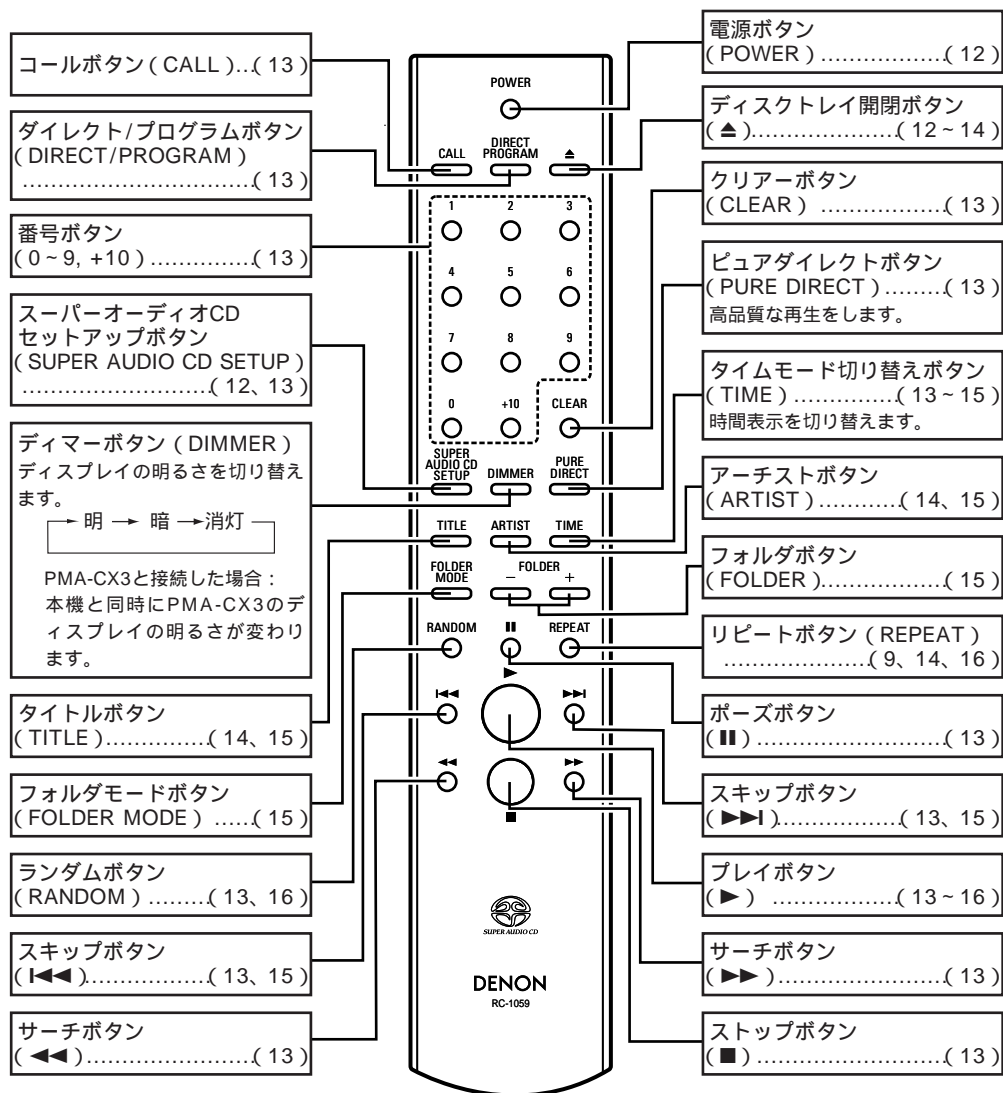
❶ **電源スイッチ**
（▬ON/STANDBY ■OFF）………（12）
❷ **電源表示** ………………………………（12）
❸ **リモコン受光部** …………………………（8）
❹ **ディスクトレイ** …………………………（7）
❺ **ディスプレイ** ……………………………（9）
❻ **スキップボタン**
（I◀◀, ▶▶I） ……………………（13、15）
❼ **プレイ/ポーズボタン**
（▶/II） …………………………（13〜16）
❽ **ストップ/ディスクトレイ開閉ボタン**
（■/⏏） …………………………（12〜14）

ディスプレイ

❶ **インフォメーションディスプレイ**
……………………………………（12〜15）
いろいろな情報を表示します。

❷ **各種モード表示** ………………（13〜16）

リアパネル

❶ **アナログ出力端子**
（ANALOG OUT） ……………………（11）
❷ **CDデジタル出力端子**
（CD DIGITAL OUT） ………………（11）
❸ **ACインレット**
（AC IN）………………………………（11）

リモコン

- スキップボタン（I◀◀, ▶▶I）および+10ボタンは、押し続けると連続的に動作します。
- **POWER**、**PURE DIRECT** および **DIMMER** ボタンはDENON製ステレオレシーバーPMA-CX3にもはたらきますので、本機と一緒に操作することができます。それぞれ別の設定状態のときは、ボタンを2秒以上押してともに初期状態にしてから設定してください。
- 初期状態では、電源は“オン”、ディスプレイの明るさは“明”、ピュアダイレクトモードは“オフ”になります。

接続のしかた

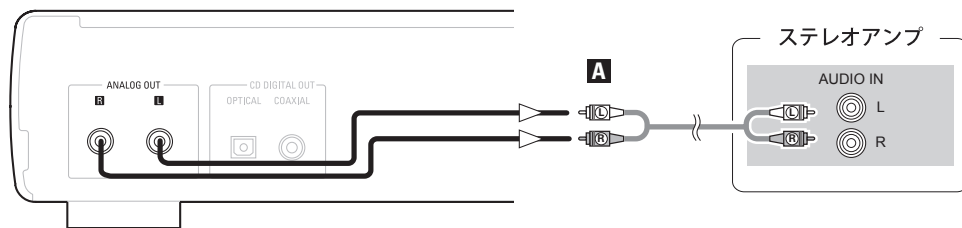
ご注意

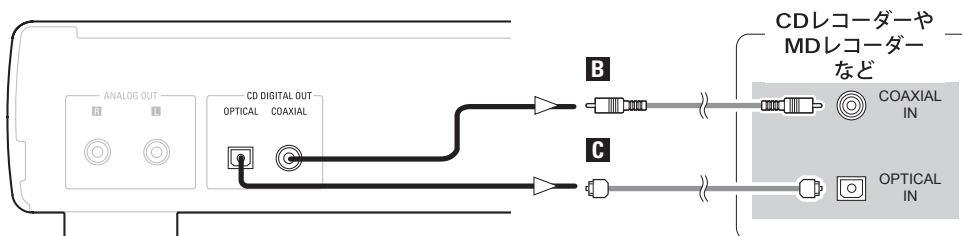
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 電源を入れたまま接続すると、雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。

接続ケーブルの表示

下記に示す接続ケーブルを使用して接続してください。

オーディオケーブル	信号方向
A アナログ接続 ピンプラグケーブル **B** 同軸デジタル接続 (オレンジ) 75Ωピンプラグケーブル **C** 光デジタル接続 光伝送ケーブル	オーディオ信号： OUT → IN

アナログ接続

デジタル接続

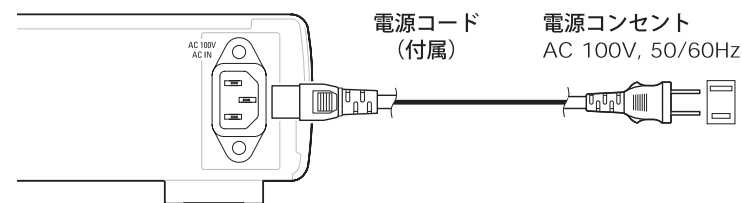
● デジタル出力端子は、COAXIALまたはOPTICALのどちらか片方を接続してください。
● デジタル出力端子（OPTICAL）には保護キャップが付いています。
保護キャップを外した後、プラグがロックするまでしっかりと差し込んでください。

● スーパーオーディオCDは、デジタル出力されません。

❑ デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（市販）で接続するとき

保護キャップを外し、形状を合わせて
奥までしっかりと差し込んでください。

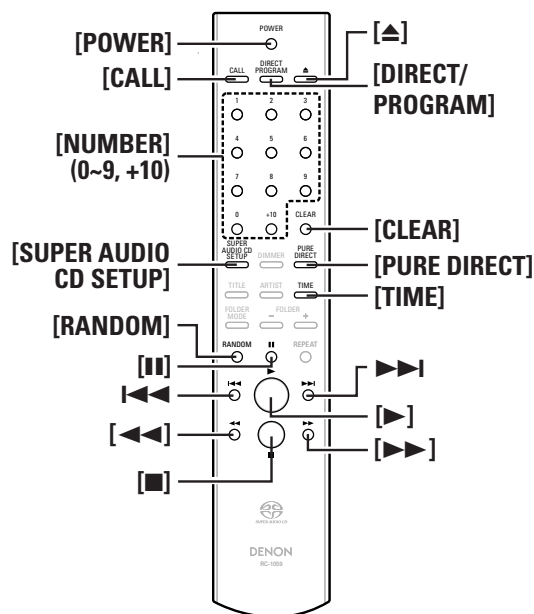
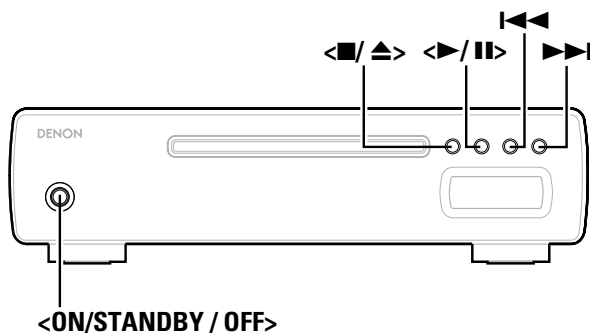
● 保護キャップは紛失しないように保管し、
端子を使わないときにご使用ください。

《 接続のしかた 》

電源コードの接続

ご注意

● 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音の原因になります。
● 本機が動作しているときは、電源コードを抜かないでください。
● ACインレットのアース端子は接続されておりません。

<■/⏏> <▶/❙❙> ⏮ ⏭

<ON/STANDBY / OFF>

【操作説明のボタン名について】

<　　>：　本体のボタン
[　　]：　リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

操作のしかた

再生の前に

電源を入れる

＜ON/STANDBY / OFF＞ を押す。

- ディスクが入っていると、自動的に再生をはじめます。
- ディスクが入っていないときは、“ NO DISC ”を表示します。

❑ 電源をスタンバイにするには
[POWER] を押す。

❑ スタンバイを解除するには
もう一度 [POWER] を押す。

❑ 電源を切るには
＜ON/STANDBY /OFF＞を押す。

- 電源表示について
  電源オン ……赤色　**スタンバイ** ……オレンジ色

ご注意
必ず再生を止めてから電源を切ってください。

最優先再生レイヤーを設定する

- ディスクを入れたときに、最優先に再生をおこなうレイヤーを設定できます。
- お買い上げ時の設定は、“ スーパーオーディオCDレイヤー ” です。

“ NO DISC ” が表示されているときに、[SUPER AUDIO CD SETUP] でレイヤーを切り替える。

“ SA-CD ” ←→ “ CD ”

SA-CD：
スーパーオーディオCDのSA-CDレイヤーモード

CD：
CDまたはスーパーオーディオCDのCDレイヤーモード

- この設定は本機に記憶され、ディスクトレイの開閉や電源の入/切でも解除されません。設定を変えるときは、設定し直してください。
- ディスクが入っているときや “ OPEN ” が表示されているときは最優先再生レイヤーの設定はおこなえません。

ディスクを入れる

停止中に＜■/⏏＞ または [⏏] でディスクトレイを開く。

❑ ディスクトレイを閉じるには
もう一度 ＜■/⏏＞ または [⏏] を押す。

ご注意

- ディスクトレイを開閉するときは、必ず電源を入れてください。
- 電源が切られているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

より高音質な再生をおこなう
（ピュアダイレクトモード）

［PURE DIRECT］を押す。
- デジタル出力をOFFにします。
- ディスプレイの表示を消灯します。
（再生していない場合またはディスクが入っていない場合には一部の表示部のみを表示します。）

ピュアダイレクトモードでは［DIMMER］を受け付けません。

❑ ピュアダイレクトモードを取り消すには
もう一度［PURE DIRECT］を押す。

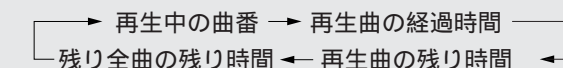
通常の再生のしかた

1 スーパーオーディオCDの場合：必要に応じて［SUPER AUDIO CD SETUP］で再生レイヤーを切り替える。

※ ディスクに収録されていないレイヤーに切り替えることはできません。

2 <▶/II> または［▶］を押す。
- “ ▶ ” 表示が点灯し、再生をはじめます。

※ ディスクに収録されているすべての曲の再生が終わると、自動的に停止します。
※［TIME］で表示内容を切り替えることができます。

再生中の曲番 → 再生曲の経過時間 → 再生曲の残り時間 → 残り全曲の残り時間 →（再生中の曲番に戻る）

※ 停止中は総曲数と総時間の表示を切り替えます。

❑ 再生を停止するには
<■/▲> または［■］を押す。

❑ 再生を一時停止するには
<▶/II> または［II］を押す。
※ 再生を再開するときは、<▶/II>または［▶］を押してください。

❑ 早送り/早戻し（サーチ）をするには
再生中に［▶▶］または［◀◀］を押し続ける。

- ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

❑ 頭出しをするには
再生中に ▶▶I または I◀◀ を押す。

※ ボタンを続けて押すと、次の動作をおこないます。
▶▶I：次々と後ろの曲の頭出し
I◀◀：次々と前の曲の頭出し

❑ ダイレクト選曲をするには
［NUMBER］（0〜9, +10）で曲を選ぶ。

※ 1〜9曲目のときは、［1］〜［9］までのボタンを押してください。
10曲目以上のときは、［+10］を押した後に［0］〜［9］までのボタンを押してください。
【例】4曲目：　［4］
【例】12曲目：［+10］［2］
【例】20曲目：［+10］［+10］［0］

いろいろな再生のしかた

聞きたい曲を好きな順番に聞く（プログラム再生）

最大20曲までプログラムすることができます。

1 停止中に［DIRECT/PROGRAM］を押す。
- “ PROG ” 表示が点灯します。

2 ［NUMBER］（0〜9, +10）で曲を選ぶ。

【例】3曲目、12曲目、7曲目とプログラムしたい場合：
［DIRECT/PROGRAM］［3］［+10］［2］［7］と押す。

3 <▶/II> または［▶］を押す。
- プログラムされた順に再生します。

❑ プログラムした曲順を確認するには
停止中に［CALL］を押す。
- プログラムされた順に曲番を表示します。

※［TIME］を押すと、曲の収録時間を確認することができます。

❑ 最後にプログラムした曲を取り消すには
停止中に［CLEAR］を押す。

❑ プログラムした曲をすべて取り消すには
① 停止中に［DIRECT/PROGRAM］を押す。
② <■/▲> または［▲］でディスクトレイを開く。

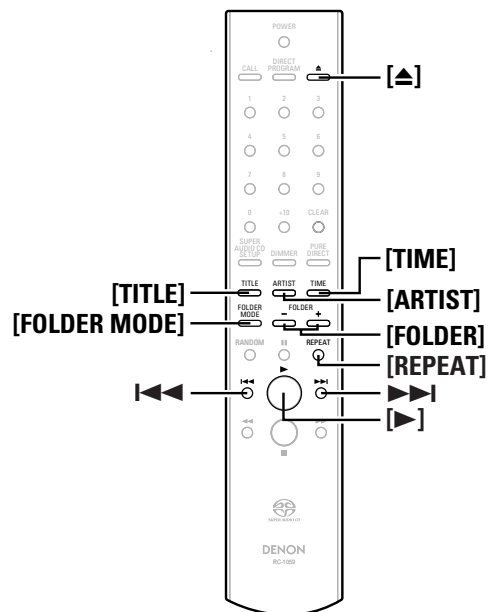
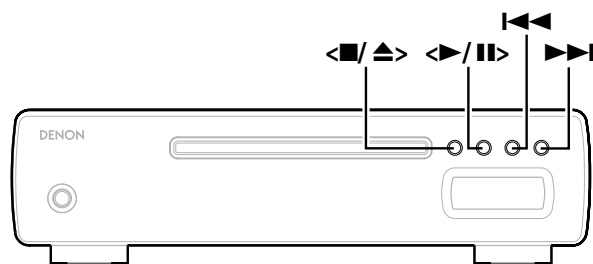
- プログラム再生中にダイレクト選曲はできません。
- プログラム総時間が99分59秒を超える場合は “ -- ： -- ” を表示します。
- MP3やWMAファイルは、プログラム再生ができません。

順不同に聞く（ランダム再生）

1 停止中に［RANDOM］を押す。
- “ RND ” 表示が点灯します。

2 <▶/II> または［▶］を押す。
- 通常の再生時：
自動的に選曲して、ランダムに再生します。
- 1曲リピート再生時：
自動的に選曲して、その曲をくり返し再生します。
- 全曲リピート再生時：
一通りのランダム再生後、毎回違ったパターンでランダムに再生します。

❑ ランダム再生を解除するには
停止中に［RANDOM］を押す。

- ランダム再生中にダイレクト選曲はできません。

【操作説明のボタン名について】
< >： 本体のボタン
[ ]： リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

曲をくり返して聞く（リピート再生）

1曲のみをくり返して聞く（1曲リピート再生）

再生中に［REPEAT］を1回押す。
- "⊂⊃1"表示が点灯し、その曲をくり返し再生します。

❏1曲リピート再生を解除するには
① ［REPEAT］を続けて2回押す。
② <■/≜> または［≜］でディスクトレイを開く。

- 停止中に［REPEAT］を1回押すと、1曲目のリピート再生ができます。<▶/❚❚> または［▶］を押すと、再生をはじめます。

全曲をくり返して聞く（全曲リピート再生）

1 ［REPEAT］を続けて2回押す。
- "⊂⊃ALL"表示が点灯します。

2 <▶/❚❚> または［▶］を押す。
- 通常の再生時：
  全曲をくり返し再生します。
- ランダム再生時：
  一通りのランダム再生後、毎回違ったパターンでランダム再生をおこないます。

❏全曲リピート再生を解除するには
① もう一度［REPEAT］を押す。
② <■/≜> または［≜］でディスクトレイを開く。

テキスト表示のしかた（スーパーオーディオCDのみ）

テキストが収録されているスーパーオーディオCDの停止中や再生中に、ディスクに収録されているテキスト情報（アルバムのタイトル、アーチスト名および曲のタイトル）を表示することができます。

曲のタイトルを表示する

再生中に［TITLE］を押す。
※ 曲のタイトルを表示しているときに曲が切り替わると、切り替わった曲のタイトルを表示します。

アルバムのタイトルを表示する

停止中に［TITLE］を押す。

アルバムのアーチスト名を表示する

停止中に［ARTIST］を押す。

❏テキスト表示中に収録時間表示に切り替えるには
［TIME］を押す。

- テキスト情報が収録されていないディスクが入っているときに［TITLE］または［ARTIST］を押すと、"NO TEXT"を表示します。

音楽ファイルの再生のしかた

MP3やWMAファイルを再生する前に

インターネットのホームページ上には、MP3形式やWMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）をCD-R/CD-RWに書き込むことにより、本機で再生することができます。

Windows Media および Windows は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

本機に対応するMP3やWMAファイルを作る

- MP3やWMAファイルをCD-R/CD-RWに書き込む場合は、ライティングソフトのフォーマットを " ISO9660レベル1 " にしてください。他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、1000個（フォルダ数とファイル数の合計）です。また、最大フォルダ数は255個です。
- パケットライトソフトやプレイリストには対応していません。
- MP3やWMAファイルの作成ソフトの説明書もお読みください。
- MP3やWMAファイルには必ず拡張子 " .MP3 "、" .WMA " を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。

※あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

【再生可能なMP3、WMAファイル】

ファイルフォーマット	サンプリング周波数（kHz）	ビットレート（kbps）	拡張子
MP3	32、44.1、48	32〜320	.MP3
WMA	32、44.1、48	64〜160	.WMA

- 本機で対応している規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」です。それ以外の「MPEG-2 Audio Layer-3」、「MPEG-2.5Audio Layer-3」および「MP1」、「MP2」、「MP3 PRO」などには対応しておりません。
- 本機はID3-Tagとメタタグには対応しておりません。
- MP3/WMAファイルを再生したときのデジタル出力は、PCMに変換して出力します。書き込みされているサンプリング周波数のまま出力します。
- 本機はフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。英数字、アルファベットおよびアンダースコアを8文字まで表示できます。表示できない文字はアスタリスクで表示します。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
  また、書き込みソフトや状態により、再生できない場合や正しく表示できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの再生順序は、CD-R/CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置やファイル位置を並び替える可能性があるため、任意の再生順序と異なる場合があります。
- JPEG、DivX®はファイルとして扱われますが、再生はできません。

❑ フォルダモードとディスクモードの設定について

［FOLDER MODE］で再生するファイルの範囲を切り替える。

- **フォルダモード**
  " WMA "、" MP3 " 表示部が**点滅**します。
  選ばれたフォルダ内に含まれているファイルを再生します。

- **ディスクモード**
  " WMA "、" MP3 " 表示部が**点灯**します。
  ディスク全体のファイルを再生します。

MP3やWMAファイルを再生する

1 MP3やWMA形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/CD-RWをディスクトレイに入れる（☞ 7 ページ）。

2 ［FOLDER MODE］でフォルダモードまたはディスクモードを選ぶ。

※「フォルダモードとディスクモードの設定について」をご覧ください。

3 <▶/II> または［▶］を押す。

- 再生をはじめます。

※［TITLE］または［ARTIST］を押すと、ファイル名およびフォルダ名を表示させることができます。

→ Folder Name → File Name →（繰り返し）

※［TIME］で表示内容を切り替えることができます。

→ 再生中の曲番 → 再生曲の経過時間 → 再生曲の残り時間 →（繰り返し）

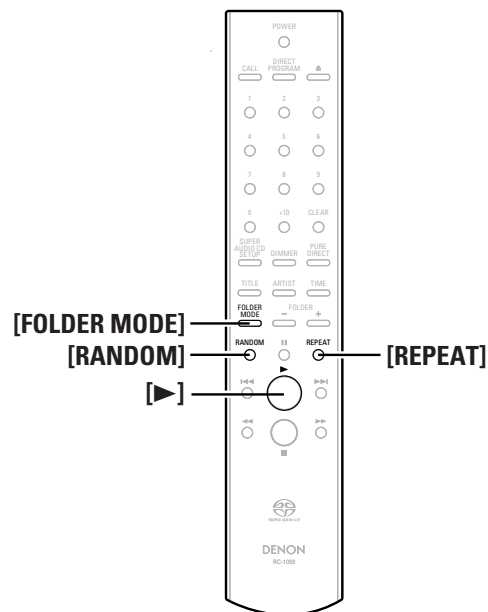
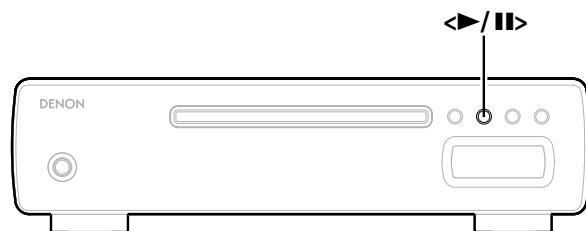
※ 停止中は総曲数のみを表示します。

❑ 再生するフォルダを変えるには

［FOLDER］でフォルダを選ぶ。

❑ 再生するファイルを変えるには

I◀◀ または ▶▶I でファイルを選ぶ。

- フォルダが選ばれた場合は、選ばれたフォルダの１曲目に切り替わります。

【操作説明のボタン名について】
＜　　＞：　本体のボタン
［　　］：　リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

MP3やWMAファイルを順不同に聞く
（ランダム再生）

1 **［FOLDER MODE］でディスクモードを選ぶ。**

※「フォルダモードとディスクモードの設定について」（☞ 15ページ）をご覧ください。

2 **［RANDOM］を押す。**

●“ RND ” 表示が点灯します。

3 **＜▶/❚❚＞ または［▶］を押す。**

● 自動的に選曲して、ランダムに再生します。

❑ ランダム再生を解除するには

停止中に［**RANDOM**］を押す。

●“ RND ” 表示が消灯します。

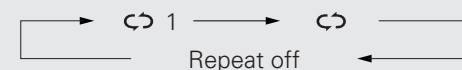
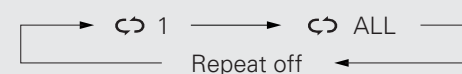
フォルダーモードのときはランダム再生ができません。

MP3やWMAファイルをくり返して聞く
（フォルダ/ディスクリピート再生）

1 **［FOLDER MODE］でフォルダモードまたはディスクモードを選ぶ。**

※「フォルダモードとディスクモードの設定について」（☞ 15ページ）をご覧ください。

2 **［REPEAT］でリピートモードを選ぶ。**

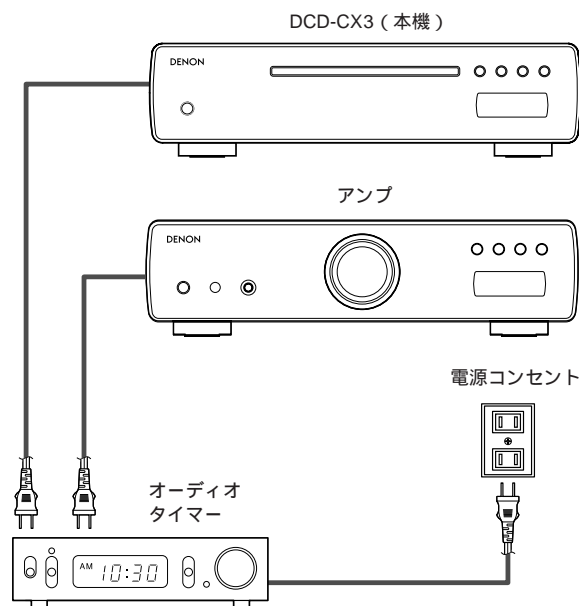
※フォルダモードのとき：

※ディスクモードのとき：

3 **＜▶/❚❚＞ または［▶］を押す。**

● 選ばれたフォルダまたはディスクをくり返し再生します。

❑ フォルダ/ディスクリピート再生を解除するには

“ ⊂⊃ ” 表示が消灯するまで［**REPEAT**］を押す。

タイマー再生をおこなう

オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **接続した各機器の電源を入れる。**

2 **アンプの入力切り替えボタンを、本機を接続しているファンクションに切り替える。**

3 **本機にディスクを入れる。**

4 **オーディオタイマーを希望時刻に設定する。**

5 **オーディオタイマーを“ON”にする。**
- オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。

※ 設定した時刻になると、自動的に各機器の電源が入り、1曲目から再生をはじめます。

その他について

故障かな？と思ったら

❑ 各接続は正しいですか
❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もしお買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	関連ページ
ディスクトレイが開閉しない。	● 電源が入っていない。	● 電源を入れてください。	12
ディスクを入れても“NO DISC”表示になる。	● ディスクが正しく入っていない。	● ディスクを入れ直してください。	7
ディスクを入れても“00：00”表示になる。	● CDおよびスーパーオーディオCD以外のディスクが入っている。	● CDまたはスーパーオーディオCDを入れてください。	7
本体の▶/❚❚ボタンまたはリモコンの▶ボタンを押しても再生しない。	● ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	● ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6、7
音が出ない。または歪む。	● 出力コードが正しくアンプに接続されていない。 ● アンプの各種調節やファンクションが不適切。	● 接続を確認してください。 ● アンプのつまみ類やファンクションを確認し、調節してください。	11 —
デジタル出力されない。	● スーパーオーディオCDはデジタル出力されない。 ● ピュアダイレクトモードが“ON”になっている。	● スーパーオーディオCDはアナログ音声出力をご使用ください。 ● ピュアダイレクトモードを“OFF”にしてください。	11 12
ディスクの指定場所が正しく再生できない。	● ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	● ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6、7
プログラム再生ができない。	● プログラム方法が違っている。	● 正しくプログラムしてください。	13
CD-R/CD-RWが再生できない。	● ファイナライズされていない。 ● 記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	● ファイナライズをしてから、再生してください。 ● 正しく記録されたディスクをご使用ください。	6 6
MP3やWMA形式で記録されたファイルが再生できない。	●「著作権保護されたWMAファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	● ❙◀◀ または ▶▶❙ボタンで別のファイルを選んでください。	15
リモコンを操作しても正しく動作しない。	● 乾電池が消耗している。 ● 本機とリモコンが離れ過ぎている。	● 新しい乾電池を入れ替えてください。 ● 本機にリモコンを近づけてください。	8 8

保証とサービスについて

1 この商品には保証書を添付しております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

❑オーディオ特性	【スーパーオーディオCD】	【CD】
● アナログ出力		
チャンネル：	2チャンネル	2チャンネル
再生周波数範囲：	2Hz 〜 100kHz	2Hz 〜 20kHz
再生周波数特性：	2Hz 〜 50kHz（−3dB）	2Hz 〜 20kHz
SN比：	112dB（可聴帯域）	118dB
ダイナミックレンジ：	109dB（可聴帯域）	100dB
高調波歪率：	0.0007%（1kHz、可聴帯域）	0.0017%（1kHz）
ワウ・フラッター：	測定限界以下	測定限界以下
出力レベル：	2.0V（10kΩ）	2.0V（10kΩ）
● デジタル出力		
COAXIAL：	−	0.5Vp-p / 75Ω
OPTICAL：	−	−15〜−21dBm
発光波長：	−	660nm
❑信号方式	1ビットDSD	16ビット・リニアPCM
❑サンプリング周波数	2.822MHz	44.1kHz
❑使用ディスク	スーパーオーディオCD	コンパクトディスク

❑総合

電源：	AC 100V 50/60Hz
消費電力：	22W（電気用品安全法による）
待機電力：	0.2W以下
最大外形寸法：	300（幅）×80（高さ）×310（奥行き）mm（突起物を含む）
質量：	7.0kg

❑リモコン（RC-1059）

リモコン方式：	赤外線パルス式
電源：	単4形乾電池2本使用
最大外形寸法：	44（幅）×233（高さ）×22（奥行き）mm
質量：	165g（乾電池を含む）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

DENON

デノンお客様相談センター

☎ 044-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1　D&Mビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

Printed in Japan　00D 511 4565 106A